

留 学 報 告 書

記入日: 2016年6月4日

| | |
|--------------------------|---|
| 所属学部／研究科・学科／専攻 | 文学部/心理社会学科/現代社会学専攻 |
| 留学先国 | アメリカ合衆国 |
| 留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語) | 和文: カリフォルニア州立大学フラトン校 現地言語: 英語 |
| 留学期間 | 2015年8月～2016年5月 |
| 留学した時の学年 | 4年生(渡航した時の学年) |
| 留学先での学年 | 4年生(留学先大学で在籍した学年) |
| 留学先での所属学部等 | 社会学部 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。 |
| 帰国年月日 | 2016年5月7日 |
| 明治大学卒業予定年 | 2017年3月 |
| 留学先大学について | |
| 形態 | <input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他 |
| 学年暦 | 1学期:8月中旬～12月下旬 2学期:1月下旬～5月下旬 3学期: (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬) |
| 学生数 | 3万 |
| 創立年 | |

| 留学費用項目 | 現地通貨(USD) | 円 | 備考 |
|-----------|---------------|--------------------|--------|
| 授業料 | 11,000 | 1,400,000 円 | |
| 宿舍費 | 9,990 | 1,200,000 円 | |
| 食費 | 3,000 | 400,000 円 | |
| 図書費 | 300 | 30,000 円 | |
| 学用品費 | 100 | 12,000 円 | |
| 教養娯楽費 | 1,000 | 120,000 円 | |
| 被服費 | 1,000 | 120,000 円 | |
| 医療費 | | 円 | |
| 保険費 | 100 | 12,000 円 | 形態:月払い |
| 渡航旅費 | 8,000 | 900,000 円 | |
| 雑費 | | 円 | |
| その他 | | 円 | |
| その他 | | 円 | |
| その他 | | 円 | |
| 合計 | 34,190 | 4,194,000 円 | |

渡航関連

渡航経路:シンガポール航空

渡航費用

| | |
|---------|--------|
| チケットの種類 | 片道チケット |
| 往路 | 6万 |
| 復路 | 6万 |
| 合計 | 12万 |

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

無し

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

キャンパス外の大学宿舎

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数)

3)住居を探した方法:

大学のHP

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

在籍した宿舎は非常に多国籍な環境で、様々な文化に触れたいという方にはお勧めだと思う。この宿舎自体が頻繁にイベントを開催するので参加するのいいと思う。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった
利用した:耳鼻科

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

相談していないのでわからない。

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

インターネット、現地の人の口コミ。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWiFi接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

パソコン…日本から調達

携帯電話…現地で購入したものと日本から持ってきたもの2つを使用。

インターネット…部屋にWifiを設置しルームメイトとシェアした。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか?(例:現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

基本的にはデビットカードを使用したのであまり現金は使用していない。

現金を使用する際はアメリカに入国した際にあらかじめ20万円分ほど換金をしたのでそれを利用した。

6)現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

帰国後すぐに就職活動をするのであれば就活関連のグッズ(証明写真、履歴書、SPI対策分等)を持って行った方がいい。

卒業後の進路について

1)進路

就職 進学 未定 その他:

2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)

現在就職活動中。業界はIT・Webサービス業界をメインに見ている。

| |
|---|
| 4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスがありましたらお書き下さい。 (例: 留学中の就職活動へ向けた準備, 帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) |
| 早め早めの準備をすることをお勧めします。自分が何をしたいのか、どういった環境で働きたいのかといったことを考え直すのに留学はいい機会ではないかなと思います。 |
| 5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。 |
| 6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)がありましたらお書き下さい。 |
| 7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスがありましたらお書き下さい。 |

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

| | |
|--|---|
| 1)留学先で取得した単位数合計 | 本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。 |
| 24単位 | <input type="checkbox"/> 単位 <input checked="" type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由: 既に日本で単位を取得済みのため。) |
| 2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4用紙で別途作成し、添付してください。 | |
| 履修した授業科目名(留学先大学言語): | 履修した授業科目名(日本語): |
| Japanese History | 日本史 |
| 科目設置学部・研究科 | 日本語 |
| 履修期間 | 8月～12月 |
| 単位数 | 3 |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | 講義(チュートリアル, 講義形式等) |
| 授業時間数 | 1週間に75分が2回 |
| 担当教授 | Kazuha Watanabe |
| 授業内容 | 江戸時代から現代にかけての歴史を説明。 |
| 試験・課題など | 小テストが週に一回 |
| 感想を自由記入 | 日本の歴史を英語で説明できるようにしたいという思いで履修しました。加えて日本に興味のある現地の学生もいるので交流するチャンスだと思います。 |

| | |
|-----------------------|---|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語): | 履修した授業科目名(日本語): |
| Sociology of Families | 家族社会学 |
| 科目設置学部・研究科 | 社会学部 |
| 履修期間 | 8月～12月 |
| 単位数 | 3 |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | 講義形式、ディスカッションあり。(チュートリアル, 講義形式等) |
| 授業時間数 | 1週間に75分が2回 |
| 担当教授 | Kramp |
| 授業内容 | 家族について社会学の観点から分析する。 |
| 試験・課題など | かなり量がある。週に読む書物は予め決められており、計画的に勉強する必要がある。 |
| 感想を自由記入 | 文化、人種、時代によって様々な家族の形があることが知れて面白かった。 |

| | |
|---------------------|-----------------|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語): | 履修した授業科目名(日本語): |
| Criminology | 犯罪学 |
| 科目設置学部・研究科 | 社会学部 |
| 履修期間 | 8月～12月 |

| | |
|------------|--|
| 単位数 | 3 |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | 講義形式。教授との討論あり。(チュートリアル, 講義形式等) |
| 授業時間数 | 1週間に75分が2回 |
| 担当教授 | |
| 授業内容 | アメリカの犯罪を中心に、実際のケースを用いて討論を行う。 |
| 試験・課題など | 最後に記述式の試験あり。 |
| 感想を自由記入 | 日本で起こる犯罪、アメリカで起こる犯罪、またその性質の違いを知ることができたと思う。 |

| | | | |
|---------------------|--|-----------------|--|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語): | | 履修した授業科目名(日本語): | |
| Global Marketing | | グローバルマーケティング | |
| 科目設置学部・研究科 | マーケティング | | |
| 履修期間 | 1月～5月 | | |
| 単位数 | 3 | | |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) | | |
| 授業形態 | 講義。ディスカッション有。(チュートリアル, 講義形式等) | | |
| 授業時間数 | 1週間に165分が1回 | | |
| 担当教授 | | | |
| 授業内容 | マーケティングをグローバル目線で切り込んで取り組む。 | | |
| 試験・課題など | 課題は特にない。試験は2回ほどあるが採点基準も厳しく、また記述のためかなりレベルは高いのではないかと思う。 | | |
| 感想を自由記入 | グローバルレベルでマーケティングを行う際にはその土地の文化をよく理解する必要があると感じた。また、授業ごとに必ず日本企業の名前が出てくるので改めて日本の企業の世界での影響は大きいのだと感じる一方、最先端分野での日本企業の名前は出てこなかったのでも少し残念に思った。 | | |

| | | | |
|------------------------------------|---|-----------------|--|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語): | | 履修した授業科目名(日本語): | |
| Using sociology for career success | | キャリア社会学 | |
| 科目設置学部・研究科 | 社会学部 | | |
| 履修期間 | 1月～5月 | | |
| 単位数 | 3 | | |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) | | |
| 授業形態 | 講義。ディスカッション有(チュートリアル, 講義形式等) | | |
| 授業時間数 | 1週間に75分が2回 | | |
| 担当教授 | Berna Torr | | |
| 授業内容 | キャリア形成やジョブハンティングの時の有効な社会学の使い方を提供。 | | |
| 試験・課題など | 週ごといーディングの課題有。また、レジュメ作成など提出課題がかなり多い。 | | |
| 感想を自由記入 | 就職活動を両立させていたこともあり興味があつてとってみた。日本の就職や労働形態が異なる部分が多いので参考にならない部分もあったが、違いをよく理解できたのではないかと思う。 | | |

| | | | |
|---------------------|---------------------------------|-----------------|--|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語): | | 履修した授業科目名(日本語): | |
| Travel and Tourism | | 旅行・観光学 | |
| 科目設置学部・研究科 | コミュニケーション学部 | | |
| 履修期間 | 1月～5月 | | |
| 単位数 | 3 | | |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) | | |
| 授業形態 | 講義形式。プレゼンテーション有(チュートリアル, 講義形式等) | | |
| 授業時間数 | 1週間に75分が2回 | | |
| 担当教授 | | | |
| 授業内容 | ツーリズムの基本概念を理解することができる。 | | |
| 試験・課題など | プレゼン課題が2回。試験が2回。毎週小テスト有。 | | |

| | |
|---------|--|
| 感想を自由記入 | 個人的に受けた授業で一番面白かった。英語でプレゼンをする機会も得られたのでいい経験になった。 |
|---------|--|

| | |
|---------------------------|--|
| 履修した授業科目名(留学先大学言語): | 履修した授業科目名(日本語): |
| Phychology of Personality | パーソナリティー心理学 |
| 科目設置学部・研究科 | 心理学部 |
| 履修期間 | 1月～5月 |
| 単位数 | 3 |
| 本学での単位認定状況 | 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい) |
| 授業形態 | 講義形式(チュートリアル, 講義形式等) |
| 授業時間数 | 1週間に50分が3回 |
| 担当教授 | |
| 授業内容 | 教科書を基に進んでいく。 |
| 試験・課題など | 定期的の小テストがある。大きな試験が全部で4回ある。 |
| 感想を自由記入 | かなり課題の量が多かった。心理学のことを英語で知ることができたのは良かった。 |

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等(形式は箇条書きなど簡単なもので構いません)

| | |
|----------------|------------------------|
| 2014年 1月～3月 | 留学情報収集 |
| 4月～7月 | 留学情報収集 |
| 8月～9月 | 選考に応募 |
| 10月～12月 | ・留学計画書作成 ・面接実施 |
| 2015年 1月～3月 | 留学選考合格。引き続き語学力の向上に努めた。 |
| 4月～7月 | 住居の申し込み。授業の履修申請。 |
| 8月～9月 | 渡米。秋学期スタート。 |
| 10月～12月 | 授業に参加 |
| 2016年 1月～3月 | 春学期スタート。 |
| 4月～7月 | 授業。就職活動準備。帰国。 |
| 8月～9月 | |
| 10月～12月 | |

留学体験記

| | |
|---------------------------|---|
| 留学しようと決めた理由 | 将来国際的に活躍するためのベースを築きたいと考えたからです。もともと留学することに憧れがありましたが、留学をするからにはその後もそれを活かせるような仕事をしたいと思いました。 |
| 留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備 | 語学力、特にスピーキングとリスニングの部分は改善した方がいいのではないかなと思います。実際に現地でコミュニケーションをとるとなったときに使うのはほとんどがスピーキングとリスニングの能力です。この2つの部分がしっかり基礎ができていればより充実した留学になると思います。 |
| この留学先を選んだ理由 | 世界的にみても有名な場所であるため。テクノロジー、エンタメ分野で抜kindでた知名度をもつ土地柄に魅力を感じた。実際にそういった分野においては日本よりも進んでいるなと感じた。また天気も良好で過ごしやすくと感じたため。 |
| 大学・学生の雰囲気 | とても活気があるように感じました。ただカリフォルニアにしては白人の割合が多いようにも感じました。なので若干ではありますが保守的な雰囲気もあります。とは言っても、様々な国籍の方が在籍していることには変わらないのでそこまで気にする必要もないかなと思います。 |
| 寮の雰囲気 | アジア系、中東系、南米系など世界各地から学生が集まっていました。寮内での交流活動も盛んに行われており海外の文化に触れるにはいい環境だったと思います。 |
| 交友関係 | ルームメイトと一番コミュニケーションをとったと思います。私の場合そのルームメイトがアメリカ人であり寮のイベントを主催している存在だったので、様々な面でお世話になったと思います。またサークルで知り合った友達ともバーへ足を運んだりサッカーをしたりして交流しました。 |
| 困ったこと、大変だったこと | やはりコミュニケーションの部分は大変でした。一対一ならまだしも、グループでの会話となるとかなり頭を使うので最初のうちは大変でした。ただそれは徐々に慣れていくのではないかなと思います。 |
| 学習内容・勉強について | 私は社会学専攻でしたがそれ以外にも授業は自由にとれたのでマーケティングの授業や観光学の授業もとったりしました。とにかく自分に興味のあるものからリストアップして授業に足を運びました。 |
| 課題・試験について | 課題量は日本と比べると多いように感じます。なので優先事項を自分の中で洗い出して計画的に学習をすることが求められると思います。実際そうしたことを心掛けたことで英語力だけでなくタイムマネジメントといった力も養えたのだと思います。 |
| 大学外の活動について | 国際交流サークルとサッカーサークルに所属して交流を図りました。 |
| 留学を志す人へ | 自分が留学をすることで何をしたいのか、何を得たいのか、留学をする「なぜ」をしっかり考えておくことをお勧めします。今は日本でも英語を習得することは決して難しくはない時代です。それでもなお留学をしたい、しなければならぬ理由をしっかりと自分の中ではっきりさせておいた方がより充実した留学になると思います。留学が決定するまでは不安が付きまとうかもしれませんが、毎日の継続を大切にして自分の夢、目標に向かって毎日を過ごしてください！ |

1週間のスケジュール(例)

| | 月曜日 | 火曜日 | 水曜日 | 木曜日 | 金曜日 | 土曜日 | 日曜日 |
|-----|------|------|------|------|------|------|------|
| 午前中 | 授業 | | 授業 | | | サッカー | |
| | 授業 | 授業 | 授業 | 授業 | 授業 | サッカー | |
| 午後 | 自習 | 自習 | 自習 | 自習 | 自習 | | 自習 |
| | | サッカー | | | サッカー | | 自習 |
| 夕刻 | 授業 | ジム | ジム | ジム | | ジム | |
| 夜 | 自由時間 | 自由時間 | 自由時間 | 自由時間 | 自由時間 | 自由時間 | 自由時間 |